

平成27年7月18日(土)

上尾市
西貝塚

いな り だい 稲荷台遺跡 (第6次調査)

わたしの顔
知ませんか？

土器や石器がたくさん出土した谷



公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、国土交通省のさいたま築堤工事に先立ち、平成26年度から稲荷台遺跡の発掘調査を行っています。

調査の結果、旧石器時代(約2万年前)の石器や、縄文時代早期(約8,000年前)の竪穴住居跡(貝塚)と炉穴、縄文時代前期(約6,500～5,500年前)と古墳時代前期(約1,700年前)の竪穴住居跡などが発見されました。また、遺跡南側の谷から、縄文時代前期～晩期(約2,800年前)の縄文土器と石鏃・石斧などの石器や土偶、古墳時代前期の土師器などが数多く見つかりました。

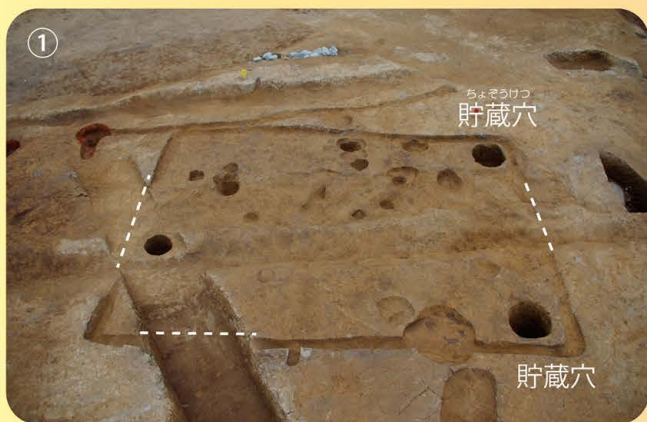
今回は、稲荷台遺跡の縄文人の暮らしを中心にご案内します。

主催：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

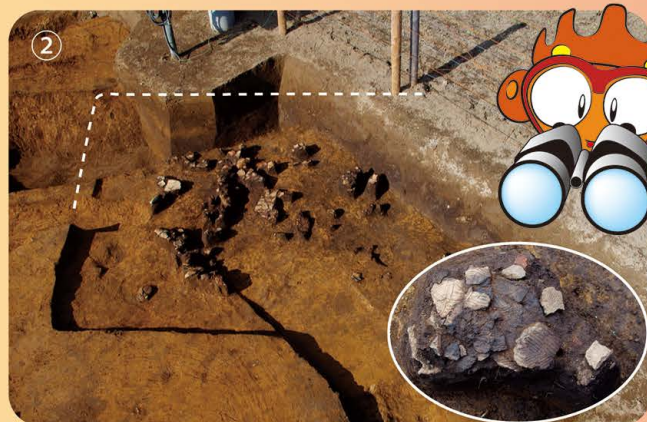
共催：国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所
埼玉県教育委員会 上尾市教育委員会

埼玉県内で最も新しい縄文時代終末の土偶が出土しました。残念ながら、顔と左脚は見つかっていません。





①古墳時代前期の^{たてあなじゅうきよあと}竪穴住居跡です。眼下の低地で稲を作って暮らしていた様子が想像されます。



②縄文時代前期の^{たてあなじゅうきよあと}竪穴住居跡です。出土した土器には、縄と竹の棒を使って芸術的な文様が表現されています。



③縄文時代早期の^{たてあなじゅうきよあと}竪穴住居跡に貝殻が捨てられてできた^{かいづか}貝塚です。近くまで海が入り込んでいたことがわかります。



④旧石器時代に石を打ち欠いて石器を作った跡です。ここが稲荷台遺跡のはじまりです。



⑤谷から、縄文時代前期～晩期の縄文土器と石鏃や石斧などの石器や土偶、古墳時代前期の土師器の甕や壺などが数多く見つかりました。長い間、稲荷台遺跡に人々が暮らし続けていたことがわかりました。

注目 !! 縄文時代晩期末の土器がまとまって発見されました。

